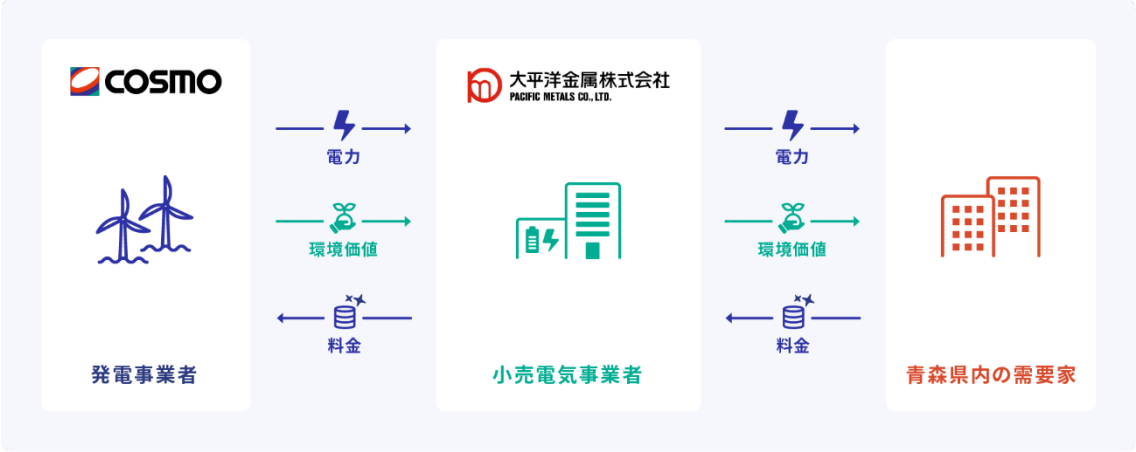
2026 年 10 月 28 日
コスモエネルギーホールディングス株式会社
コスモエコパワー株式会社
大平洋金属株式会社

コスモエコパワーと大平洋金属が地産地消型フィジカル PPA を締結
～新岩屋ウィンドパークの電力を供給開始、「青森県内でつくる、届ける、使う」～

コスモエネルギーホールディングス株式会社（代表取締役社長：山田 茂）のグループ会社であるコスモエコパワー株式会社（代表取締役社長：野倉 史章、以下「コスモエコパワー」）と、大平洋金属株式会社（代表取締役社長：岩舘 一夫、以下「大平洋金属」）は、青森県内の陸上風力発電所を対象としたフィジカル PPA（Power Purchase Agreement：電力受給契約、以下「本 PPA」）※を締結し、コスモエコパワーによる大平洋金属への再生可能エネルギー電力の供給を 2026 年 10 月 1 日に開始しました。小売電気事業者である大平洋金属は、本 PPA で調達する電力と環境価値を、青森県内の需要家に供給する予定です。この取り組みにより両社は、「青森県内でつくる、届ける、使う」という再生可能エネルギー電力の地産地消を推進します。コスモエコパワーが青森県内で地産地消型 PPA による電力供給を実施するのは初めてとなります。

本 PPA の対象は、コスモエコパワーが青森県下北郡東通村において運営する陸上風力発電の新岩屋ウィンドパークで、発電電力量は年間約 7,000 万 kWh です。大平洋金属は小売電気事業者として、本 PPA に基づき、新岩屋ウィンドパークの発電電力と付随する環境価値の一部を調達し、青森県内の需要家に供給する計画です。



本 PPA のイメージ

両社は本 PPA により、青森県内で再生可能エネルギー電力の地産地消に取り組み、地域に根ざしたエネルギー事業の展開と脱炭素化に貢献するとともに、地域社会との共生を図ってまいります。

〈本 PPA で活用する風力発電所〉

発電所名	新岩屋ウィンドパーク（陸上風力）
所在地	青森県下北郡東通村
設備容量	27,000kW（出力制限後）

【各社の取り組み】

〈コスモエコパワー〉

コスモエネルギーグループの一員として「2050 年カーボンネットゼロ」の実現に向け、風力発電をはじめとする再生可能エネルギーの開発・供給拡大に取り組んでいます。これまでの自社風力発電所の開発・運営・FIP 移行や、再生可能エネルギーの販売・調達等の経験を活かし、今後も脱炭素化を進める需要家との連携を強化するとともに、再生可能エネルギーの普及促進と地域社会の発展に貢献してまいります。

〈大平洋金属〉

大平洋金属は、2050 年 GHG 排出量実質ゼロを目標とし、カーボンフリーエネルギーの活用、新技術の導入等の方策を以て取り組んでいます。小売電気事業者としては、自社電力コストの低減に長年努めてきた実績を活かし、電力デマンド管理に関する知恵と需要家目線での発想力豊かな電力料金メニューの提案を行うことで、電力の安定供給と脱炭素化に貢献しています。

※　フィジカル PPA：需要家や小売電気事業者が、再生可能エネルギー発電所から電力および環境価値を調達する契約形態。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】
コスモエネルギーホールディングス株式会社
コーポレートコミュニケーション部　広報グループ　横山、秋岡
cosmo_pr@cosmo-oil.co.jp

大平洋金属株式会社
電力事業部
https://www.pacific-metals.co.jp/inquiry/index.php